



# 城野遺跡公園を実現する会

(北九州市小倉南区城野)

会報 第1号

ついに、発足しました！

北九州市城野遺跡の保存と整備・活用を求めて活動を続けてきた「城野遺跡の現地保存をすすめる会」を発展的に改称し、新たなステージで城野遺跡公園の建設を実現するため、「城野遺跡公園を実現する会」を結成しました。会則も設けて対外的な交渉などにも対応できる会として出発します。

2018年の秋には、城野遺跡の東エリアにいよいよ商業施設「ゆめマート城野店」がオープンします。まわりにショッピングセンターがなく、城野駅にも近いことから、周辺住民の利用は多いと思います。

2月議会で、市は現地保存される方形周溝墓+αの“遺跡広場”にするために周りの土地取得費用3000万円の予算が成立しました。これでは狭すぎて、憩いの場にも学校教育にもほとんど活用できないのは明らかです。

城野遺跡西エリア全域を、北九州市で初めての「人々が集い、学び、歴史体験できる本格的な遺跡公園」にするために、市長・市議会への陳情、周辺住民をはじめ市内外への宣伝や署名活動、講演会や遺跡見学会の開催など、引き続き取り組んでいきますので、是非ご協力ください！

皆様の一層のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。 会長 万田守



↑ 城野遺跡公園のイメージ図(山内正一氏作図)

## ● 結成総会を開催！

去る2月12日、極寒のなか「城野遺跡公園を実現する会」結成総会を小倉南区生涯学習センターで開催しました。

集まった約50名の参加者は、城野遺跡の重要性を理解し、これまでも支援して下さった方々が殆どで、万田守会長はじめ事務局の訴えに真剣に耳を貸して下さいました。

思えば「城野遺跡の現地保存をすすめる会」として遺跡の保存要望を掲げ活動をはじめてはや2年以上が経過し、今後さらに活動の輪を広げるため会則も作成しました。

何よりも城野遺跡の歴史的価値を広く市民に知っていただき、かけがえのない地域の宝が失われようとしていることを理解していただくため、事務局はほぼ毎日、現地の状況を確認しながら、周辺住民や市議会への働きかけを続けて来ました。思い描く遺跡公園像も提示して、城野遺跡公園実現の機は熟したと感じています。

講演会で講師を務めて下さった先生方も顧問の要請に快く応じて下さり、百万の味方を得た気持ちです。これを契機に、さらに城野遺跡の重要性と遺跡保存の必要性を訴え、城野遺跡公園実現のため頑張ってください。

## ● 顧問の先生方も応援！

◇ 西谷正 先生 (九州大学名誉教授、海の道むなかた館館長、沖ノ島世界遺産登録専門家会議委員長)

このほどは「城野遺跡公園を実現する会」の結成おめでとうございませう。皆様のご熱意とご努力に対し、心から敬服いたしますとともに、私なりにご協力できればと念じております。文字どおり、城野遺跡公園が実現するまでたゆまぬ決意と努力を継続したいと存じます。

◇ 近藤英夫 先生 (東海大学名誉教授、日本考古学協会副会長)

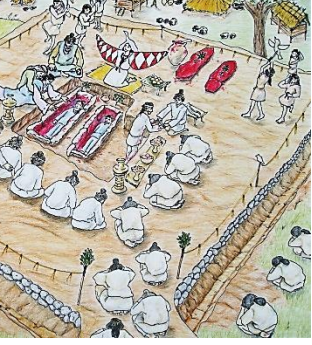
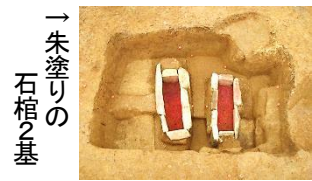
はじめに、「城野遺跡の現地保存をすすめる会」から「城野遺跡公園を実現する会」への発展的継承に賛同致します。そして「実現する会」のメンバーに加えていただいたことありがとうございます。これからは皆さんと一緒に、遺跡の活用にもむけて努力する所存でありますので、よろしくお願い致します。

◇ 武末純一 先生 (福岡大学教授、九州考古学会元会長)

「城野遺跡公園を実現する会」の発足を心よりお祝い申し上げます。ときに「文化不毛の地」ともいわれる北九州市が決してそうではないことを、今回の発足と、これからの皆様方の活動が示していくこととなります。地域の方々を含めて、多くの方々がこの会の活動に参画され、地域づくりを息長く続けられること、そして城野遺跡だけでなく、北九州市の多くの遺跡が保存活用されることを願ってやみません。

◇ 吉田広 先生 (愛媛大学准教授、日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会幹事)

「城野遺跡公園を実現する会」が組織を整え、新たな活動のステージに移っていくこと、大変うれしく思います。そして、このようなみなさんの行動に改めて敬意を表します。なかなか進展をみない状況が続きますが、私も、力強いみなさんとともに活動していくことで、遺跡の歴史的価値と現代的価値を広く訴えていきたいと思ひます。



ホームページ「城野遺跡公園を実現する会」で情報発信しています。ぜひご覧ください。



## ● 講演会を開催！改めて北九州市の弥生時代を実感！

去る3月24日（土）小倉南生涯学習センターで8回目の考古学講演会を開催しました。講師は日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会幹事の佐藤浩司さんです。

佐藤さんは2009、2010年度に城野遺跡の発掘調査に携わり、玉作り工房を発見しました。講演会では、「北九州市の弥生遺跡は何を語るか？—卑弥呼からみた企救国—」と題して、それを見つけたときの感動や、発掘時の苦労話など、興味深い話を聞くことが出来ました。

九州最大規模の方形周溝墓の発見、幼児の石棺に塗られた目の覚めるような赤、その墓を守るために描かれたという方相氏がやがて「節分の鬼」に変化していくという解釈に加え、光り輝く水晶の透明感は北九州市のものづくりのルーツが、1800年前にここ城野の地に花開いていたことを物語っています。

また、城野遺跡の周辺だけでなく、紫川の上流地域や周防灘側でも数多く重要な弥生時代集落が見つかったこと、そしてそれぞれの地域が連携しながらムラを発展させ、やがては「企救」というクニの姿が形作られたこと、さらにそれが邪馬台国の女王卑弥呼の目にも止まっていたのではないかと推察されました。発掘調査の成果に基づきながらの大胆な仮説とはいえ、なんと夢のある話でしょうか？

こんなに重要な遺跡が見つかったなんて、驚きです。改めて城野遺跡を保存して後世に伝えていかなければとの感を強く持ちました。参加者は約80名でしたが、その日には9名の方が入会され、多額のカンパも集まりました。皆様、ご協力ありがとうございました。

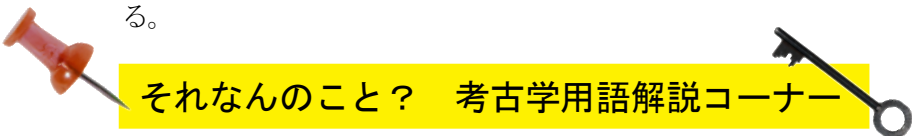


↑卑弥呼と企救国についての講演会は熱気ムンムン

### ＜城野遺跡保存運動の軌跡＞

- 2009～10年 城野遺跡(城野医療刑務所跡地＝国有地)の発掘調査で方形周溝墓、玉作り工房が発見される。
- 2010年 九州考古学会が北九州市に城野遺跡の保存要望書を提出。
- 2011年 日本考古学協会が国、県、市に城野遺跡の保存、整備活用要望書を提出。
- 2011年～2013年 北九州市が国(土地所有者)と保存交渉  
→国の優遇措置(1/3無償)や等価交換の提案に応じず合意に至らず。
- 2013年 国が北九州市と福岡県に城野遺跡所在地の売却を通知。取得要望がない場合は、一般競争入札で民間に売却するとする。
- 2013年 北九州市が「取得要望しない」旨の回答を国に提出。
- 2014年 北九州市が城野遺跡の「保存計画の変更」を決定し、現地保存を断念。
- 2014年 方形周溝墓内の2基の箱式石棺石材を取り上げ、遺構の剥ぎ取りを行う。
- 2014年 市が城野遺跡の現地保存断念を知った地元住民有志が「城野遺跡の現地保存をすすめる会」(以下「すすめる会」)として陳情署名に取り組む(継続審議)
- 2015年 城野遺跡が発見された土地が一般競争入札により民間に売却されようとしていることを知った地元住民が新たに加わり「すすめる会」の活動を再開
- 2015年 国が城野遺跡所在地の一般競争入札を公示。
- 2016年 日本考古学協会が国、県、市に2回目の保存、整備活用要望書を提出。大和ハウス(株)が城野遺跡用地を落札・取得。
- 2016年 日本考古学協会が国、県、市に3回目の保存、整備活用要望書を提出。
- 2017年 大和ハウス(株)が城野遺跡西エリアの方形周溝墓部分を緑地部分に当てた上、北九州市に無償譲渡を申し入れ。
- 2017年 大和ハウス(株)が城野遺跡東エリア部分を(株)イズミに売却。
- 2018年 商業施設「ゆめマート城野店」建築のために、城野遺跡東エリア部分の擁壁工事を開始。
- 2018年 「城野遺跡公園を実現する会」を結成。

2014年～現在 「城野遺跡の現地保存をすすめる会」(2018年2月からは「城野遺跡公園を実現する会」)は、学習会・講演会・市民の集いを合計8回開催。その間、北九州市議会や市長への陳情や要望(現在取り組んでいる陳情署名は7回目)、土地所有者との懇談・報告書の送付などを継続的に取り組んでいる。



#### 方形周溝墓 (ほうけいしゅうこうぼ)

弥生時代前期から古墳時代まで続く墓の形態で、一辺が5～6mから20mほどの四角い区画を幅1～2mの溝で囲い、内部に箱式石棺や、木棺を築いて死者を埋葬した。有力者の墓で、近畿・東海地方でよく見られるが、そのルーツは北部九州にあると考える研究者もいる。

北九州市では、弥生時代終末期の城野遺跡、祇園町遺跡、上徳力遺跡など、大規模集落周辺で見つかる場合が多い。

城野遺跡の方形周溝墓は、一辺が17m×24mと九州最大規模で、青銅鏡が40面も出土し、国の史跡に指定されている糸島市の平原一号墓より、はるかに巨大である。

しかも幼児二人を埋葬するために築いた墓は日本でも類例がない。それだけでも、この方形周溝墓が極めて重要な学術的価値を有するものであるといえる。

風の音

城野遺跡に立つと 風が吹く  
足立山から 吹いてくる  
弥生の匂いも 漂ってくる  
玉作りに精を出す 男たち  
夕げの支度をする 女たち  
周りで子供たちが 走り回っている  
今年は豊作だった ムラに暮らしてもできた  
神にお祈りしよう 王子たちが眠る丘で  
千八百年の時をこえ

また城野遺跡に 風が吹く

一八〇〇年前の弥生人に思いを寄せた詩が寄せられました。城野遺跡への熱い思いが伝わってきます

### 緊急署名にご協力ください！

**5/7(火) 必着でお願いします**

3月中旬から、同封の新しい陳情署名「邪馬台国時代の歴史を子どもたちへ」に取り組んでいます。ご家族やお知り合いにもぜひ広めてください。お手数ですが、送付先(署名用紙に記載)へお送りください。あるいは、お知り合いの役員にお渡しください。足りない場合はコピーしていただくと助かります。

### 会員募集中です！

同封の会則と入会申込書をお読みいただき、ぜひご入会ください。すでに会員の方は広めてください。FAXで申し込まれた場合は年会費をゆうちょ銀行の口座にお振込みください。お問い合わせは連絡先(永田)まで。

発行日 2018年4月12日  
 発行者 城野遺跡公園を実現する会  
 編集担当 高橋徹雄  
 連絡先 永田由起(事務局長)  
 TEL 090-3079-6503 FAX 093-951-3524  
 振替口座 ゆうちょ銀行 01780-0-147174  
 「城野遺跡公園を実現する会」